



## セピア色の運動会

先日の土曜日、緑地区の人達が日曜日に実施される健民祭の準備をしていました。校庭の草を取ったり、裏庭にある倉庫の中の健民祭のグッズを確認していました。倉庫の中には、くす玉、万国旗などがありました。くす玉と万国旗を久しぶりに目にして、私は思わず昔を思い出しました。

私が小学校、中学校のころは運動会の時の万国旗とくす玉は定番でした。運動会というと真っ青な空にカラフルな国旗がはためいているイメージが浮かびます。綺麗に竹ボーキで掃かれたグラウンドは気持ちよかったです。また校庭の真ん中に金と銀のくす玉が吊るされていて、午前中の最後の種目に「鈴割り」がありました。全校生徒で紅白のボールをくす玉めがけて投げます。くす玉が割れると、「祝・運動会」と書かれた垂れ幕が出て、みんなで拍手しました。

私が中学校の教員に赴任したころ、運動会の種目の見直しの会議で「玉入れを種目から外そう」と意見が出ました。運動会の時間を削減するため競技性が低い玉入れをなくす意見が多く出されました。私もほとんど練習もしない玉入れは集団作りの視点からも外しても良いかなと思いました。そんな中、山口先生が手を挙げて意見を述べました。「私は、玉入れを残してほしいです。競技の時間を少し短くしても玉入れを残していただきたいです。玉入れの紅白のボールが不規則に宙に舞う景色は綺麗で、見ていてホッとします。生徒も無邪気にボールをかごめがけて投げ入れます。運動会の種目で、見ていて綺麗で華やかな玉入れは残してほしいです。競うばかりの種目ではなく、綺麗だとかホッとするなというような競技があってもよいと思います。」私は、山口先生の意見を聞いて、なるほどと思いました。前年の運動会を思い浮かべると全校生徒約1000人が様々な角度からボールを空中に投げ上げるシーンは花火のように綺麗だったことを思い出しました。そういう視点で運動会を見ていなかった自分がちょっと恥ずかしい気持ちになりました。私は会議で玉入れを残す方に意見を変えました。

約三十年前に私が、城山中に赴任してきたときには玉入れが行われていました。城山中に10年以上勤めて、酒匂中学校に転任して、再び10年前に私が城山中学校に着任した時は玉入れは競技から外されていました。

鈴割り・玉入れは運動会の定番でした。日本中の多くの学校で実施されていたと思います。今は、中学校で玉入れや鈴割りをしている学校はどれほどあるのでしょうか？

中学校の校庭で、青空に宙を舞った紅白の布のボール……

城山中学校の地域のプレハブ倉庫に山積みされたボールを見て、このボールをもう一度、みんなで青空になげ上げたい気持ちになりました。「ホッとする時間と空間」を楽しむことを忘れないためにも

」  
。 n天勝てんだったり

来週は第二回テストがあります。テストが終わると直ぐに、前期の成績をつけます。夏休み前の三者面談では、4月から7月までの中で5教科は評価を出しましたが、技能教科は評価資料が少なく評価を出すことができませんでした。10月6日に渡す通知表では3年生の市ry法が少なく」技能強化の第一回のテスト前期の成績は技能供養かも